NCAC<Net Computing Academy>事例のご紹介

ユニアデックス株式会社様

開催日：　2019年6月14日/ 6月17日/ 6月24日

講師：　津田　邦和

目的と課題

・クラウド及びクラウドビジネスの知識を高める。
・クラウドのメリット・デメリットとモデル選定方法を理解し、最適かつ具体的な提案方法を習得する。
・クラウド事業の利益の把握、プロセスと考え方の習得をする。
・習得したクラウドのノウハウや要素を自社の提案書や企画書に反映させる。

興味を持った内容と気づき

■1日目｜NCACベーシック＆ビジネスモデルコース
　テキストによる研修
■2日目｜NCACセールス＆マーケティング
　テキストによる研修＋販売ロールプレイング
■3日目｜NCACプロジェクトプランニング
　テキストによる研修＋事業計画策定ワークショップ

Q：「NCAC」を受講してみて興味を持った内容について教えて下さい。

・過去の歴史や経緯など技術的な背景から、クラウドの本質や必然性について、詳しく説明されている点。津田さんの実際の経験や業界に関する説明など。
・普段見逃していたファシリティ（電源・床荷重など）の重要性と、どのようにコストシュミレーションするべきかという観点。

Q：ロールプレイングやワークショップについて、何か発見はありましたか？

・それぞれのメリット、デメリットなどは文書としてわかるのだが、提案書、または顧客説明資料として、具体的な数値とするには、やはり知らなければいけないことが多いことに気づかされました。
・今回のロールプレイングを通して実際他部署でしているサービス内容についても相互に情報交換ができたのが貴重な体験だったと思います。

Copyright 2019 NCRI Inc. All Rights Reserved.

研修を受けて

企画者の感想

田淵　秀　様

弊社では、データセンター、クラウドサービスを提供をしており、今後のお客様企業におけるITインフラ、クラウドの更なる活用に向けた提案力の強化を目的に、クラウドプロデューサー育成研修の企画、実施に至りました。
弊社（旧ユニバック）とコンピュータの歴史から始まり、クラウドの必要性、提案時の訴求ポイントを丁寧に解説頂き、座学で得た知識を元に、ロールプレイング形式で提案・訴求のプレゼンテーション、事業計画策定を実践さながらに行えたことは、今後の事業活動に大きく活かせると確信しております。

受講者の感想

・非常に情報量が多くてメモを取るのが大変なほど充実していた。若いメンバー20代の社員に受けてほしい。研修では、DCのビジネスの細かいところを解説していただいて、継続ビジネスなので売り方を知って身に付けてほしい。

・今まで受けてきた研修に比べて、コンピュータやクラウドの過去の歴史や経験など本質的な説明があったので、納得するところが多かった。

・テキストはツールとして使える。座学だけでは実体験として入ってこなく刷り込みができないが、ロールプレイングをする中で、皆さんの経験を踏まえながら聞けて良かった。研修の中で、最終的にユニアデックスの強みを外側から言っていただけたのも有難い。本当なら内側から一人一人認識しなくてはいけない。これをベースにしてさらに社内特有の競争力を肉付けしていきたい。

・テキストの中身が濃い。メモを書くだけではなくて身に付けるように努力が必要と感じた。自分の会社のことも勉強する機会になった。

・クラウドの見方が変わった。受講後は、お客様に対しての効果をもっと幅広く話ができるという期待感がある。

・津田さんの活力は凄まじく感じました。常にアンテナを張り情報を効率的に仕入れ、整理し、伝えることをされており、私自身営業という職種においても勉強不足と感じました。しかしながらちょっとの努力で他ベンダとの差別化になれば有益ですので復習と実行を行い次につなげます。

（その他、感想を頂戴しました。）

コメント

お客様にプロとして自信をもってクラウドの相談に対応するためには、クラウド開発の背景やビジネスモデルなどを理解することは重要な要素です。最近は国の政策としてもクラウドバイデフォルトとされており、最適な提案及びクラウド選定によって、コストだけでなく利便性と新しい価値創造も可能となることをご理解いただいたと思います。
また、ユニシスグループのクラウドとのかかわりや、DC・U-Cloudなど貴社の強みと競争力の会話を通じて、クラウドビジネス全体の意識も変わったように見受けられます。
社会的な意味でも、企業業績のためにも、クラウドへの取り組みを一層強化していただき、皆さんの益々のご活躍を祈念しています。

Copyright 2019 NCRI Inc. All Rights Reserved.